

ねんりんピック秋田 2017 ご報告

今年から神奈川県の方針が変わり、選手以外の監督が認められました。監督の申請を竹島会長で提出しましたが、監督も政令市以外からだすようにとの連絡が入り急遽監督を交代しました。

9月8日（金）朝東京駅に、県選手団、県職員の皆様総勢130人新調したユニフォームを思い思いに着用し期待に胸膨らませての集合でした。近くには千葉県、東京のユニフォームも見えます。

新幹線で、新花巻まで。大型バスに分乗し一泊目の宿は岩手の花巻温泉。宿は京都の方たちと一緒に。お風呂に入り、宴会です。

どうも伝統らしくチームごとに一芸をすることになっていましたので、4組でダンスのご披露。今度は音源を持参せねばと思いました。月光仮面がシーツのマントを翻し走り回ったりして夕食後130人の学芸会は楽しいものでした。

9月9日（土）朝食6:00後大型バスで、総合開会式が行われる秋田県立中央公園県営陸上競技場に向かいました。

※総合開会式

ちんちんどんどん、ちんどんどん…

街の明かりがとてもきれいねヨコハマ～ ブルーライトよこはま～
神奈川のユニフォームに大サービス。チンドン屋さんのお出迎えおもてなしです。横浜のユニフォームには何のメロディだったのかな。

競技場の中は沖縄から順に入場行進です。あまりにも選手の数多くて、外で順番待ちをしていましたので、他県の様子はわかりませんでした。

いよいよ神奈川の順番です。右手で持ったブルーのハンカチを振りながらの116名の行進。話には聞いてはいましたが一万人以上の国体級の開会式。

報道のカメラの多さ、すべて大掛かりで驚きと感動で感激しました。

最後に開催地の秋田の選手団が入りグラウンドは体育座りの選手で埋め尽くされました。暑さは半端なく、よくぞ倒れる人がいなかったなどねんりんパワーのすごさを感じました。

なまはげ太鼓の迫力でオープニング。

1,500人の演者による秋田の四季の創作ダンス

一輪車に乗った雪の妖精達、真っ白のドレスが風にたなびき、それはそれは素敵、夢の世界。最近見かけなかったトンボも空を舞い参加をしていました。強風の中、倒されても倒されても起き上がった30竿の竿燈には感動、感動、感動。竿燈祭りより素晴らしかった。

特製のお弁当をいただき、会場を後にし、種目別の監督会議にむかいました。

※監督会議

ダンスの練習会場が設けられている秋田県スポーツ科学センターに選手の皆様より一足お先にむかいました。

競技についての注意事項をチェアパーソンより説明を受け、会議の最後に表彰の説明がありました。最高齢表彰、と秋田市の特別表彰の説明にびっくり、相模原の岡本保美さんと鎌倉の近藤汎子さんのお名前がありました。秋田市の市政記念日とお誕生日が同じとの事。4名のうち神奈川から2名、うれしいプレゼントでした。秋田こまちの新米が30キロ届くとのことでした。

※交流大会

9月10日（日）朝食6:00を済ませ交流大会会場秋田県立体育館へ。

開会式のアトラクション

一輪車の演技、西馬音内盆踊りの後

個人戦ラテン、個人戦スタンダード、団体戦とリダンスを行いながら競技が進みました。JDSFの競技会ではまず経験が出来ないA,B,C,D様々なランクの選手が混ざっての競技。勝ち抜くのは至難の業です。

結果は長嶋組個人戦ルンバで、入賞6位、チャチャチャ7位

団体戦は最終予選でした。4組の選手の皆さんは楽しい思い出が出来たと思います。ねんりんピック一色に塗りつぶされた秋田の街に9月9日～9月10日の2日間、市内のふきみ会館に宿泊、夕食は名物きりたんぼ鍋、焼き物のはたはたでのおもてなし。10日はみんなで夜の街に出て、懇親会。あっという間の3日間でした。最後になりますが参加費の補助をいただきありがとうございました。選手の皆さんを代表してお礼を申し上げます。

2021年には神奈川県にねんりんピックがやってまいります。

ダンスの会場は川崎のとどろきアリーナの予定。

私達がおもてなしを受けたように今度はおもてなしをして全国の皆さんをお迎えする番です。

平成29年9月

ねんりんピック秋田2017監督 柴田真理子